

単元名	走・跳の運動遊び（ハードルリレー遊び）	配当時間	5時間
単元の目標	(1) 順番やきまりを守って仲よく運動をしたり，運動をする場所や器械・器具の安全に気を付けたりしようとする。 (2) 競走や運動の仕方を知り，活動を工夫することができる。 (3) 高さのある物を走りながら越す走の運動遊びを楽しく行うことができる。		
単元を構想する上での留意点	ハードルリレー遊びで要求される走りながらの片足踏み切り 片足着地は，いろいろな運動の基礎となる動きであり，他の運動を楽しむためにも重要な動きである。しかし，低学年の児童は走りながら障害物を越えるとき，障害物の前に来ると立ち止まったり，スピードを緩めたりしがちである。 そこで，本単元では，棒や輪，段ボールの箱などをハードルとして用いて，リレーを行いながら楽しく障害を跳び越す活動を取り入れた。ねらい1では，1対1の競走から始まり，2～3人組，チームでの競争へと発展させる。ねらい2では，競走の場を選んだり，走る順番を工夫させたりして活動する。		
単元展開例			
準備	コースに置く障害物（棒，輪，段ボールの箱，ミニハードルなど），対戦表，バトン（低学年用のバトンや輪投げ用の輪などを利用する），カラーコーン など		
学 習 活 動		留 意 事 項 な ど	
1 ハードルリレー遊びの学習のねらいと内容を理解し，学習の進め方についての見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 跳び越す物を選んで競走して楽しもう ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○チームを編成する。 ○いろいろな場でかけっこを楽しむ。 ・いろいろな動作で走る。 普通に走る スキップで走る 大股で走る 小股で走る ギャロップで走る 後ろ向きに走る など ・友達と組になって走る。 手をつないで走る 追い抜き走りをする など ・鬼遊びをする。 ・障害物を越えて走る。 棒 輪 段ボールの箱 段ボールの箱を斜め半分に切ったもの ミニハードル など 2～3 チーム内で競走して楽しむ。（ねらい1） ○いろいろな場でかけっこを楽しむ。 ○障害物を置いたコースで試走する。 ○1人对1人で競走して楽しむ。 ○チーム内で2チームに分かれ，ハードルリレー遊びをして楽しむ。 ○反省し，まとめをする。 ・がんばったこと ・問題点 など		・棒や輪，段ボールの箱などを速く跳び越えてリレーすることを知らせ，意欲を高める。 ・力が均等な偶数チーム（1チーム5～6人程度）に分ける。 ・単に運動場に線を引き，距離を決めて走るのではなく，教師とともに走り方を変えながら運動場を走ったり，指示された走り方で運動場にある固定施設にタッチしてもどってきたりするなど楽しく行わせる。 ・余裕があれば，図工の時間等を利用して，跳び越したい物を作ったり，段ボールの箱に絵を描いたりして障害物を事前に準備しておくこと，さらに意欲が高められる。 ・第1時で行ったかけっこなどを取り入れ，体をほぐす。 ・同じ障害物のコースを隣り合わせて2コース作る。 ・チーム内で対戦相手を変えながら，いろいろなコースに挑戦させる。 ・チーム内の組分けも変えながらいろいろなコースに挑戦させる。	

<p>4~5 チーム対抗ハードルリレー遊びをして楽しむ。 (ねらい2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな場でかけっこを楽しむ。 ○コースについて話し合う。 ○チームでめあてや作戦を立て，ハードルリレーの練習をする。 ○チーム対抗ハードルリレーをする。 ○反省し，まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・めあて ・作戦 ・問題点 など ○第5時は単元のまとめもする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総当たり戦形式でハードルリレー遊びをする。 ・第3時までに行ってきた障害物の中から障害物の種類と数を選ばせる。 ・活動中に生じたトラブルを自分達で話し合っ て，解決していくよう助言する。 評 作戦を工夫してハードルリレーを行う活動を通して，「思考・判断」を評価する。 評 仲よく協力してチーム対抗ハードルリレーを行う活動を通して，「関心・意欲・態度」を評価する。 ・チームで作戦や協力の仕方などについて話し合わせる。
--	--